

# イスラエルから学ぶ クリスチャンの試練

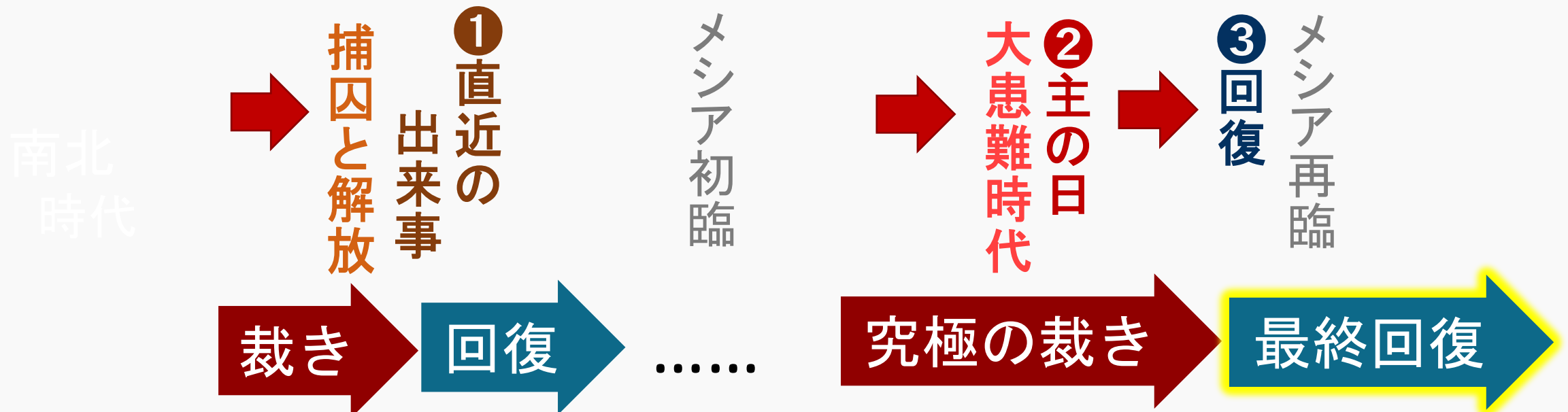
詩篇 49, 1, 20, 37, 49, 106, 51, 22篇

# 詩編とは？

- 主な著者 ...ダビデ、アサフ(奏楽隊長)
- ダビデが組織した奏楽隊は、**預言者集団**
  - ➡ 律法を学び、教え、主の御言葉を取り次ぐ
- 「I 歴代25:1 また、ダビデと軍の長たちは、アサフとヘマンとエドトンの子らを奉仕のために取り分け、豎琴と琴とシンバルに合わせて**預言する者**とした。」
- 詩編は、ダビデと奏楽隊による**預言の書**とも言える

# 詩編にも共通する預言書の構成





# 預言はフラクタルでシームレス

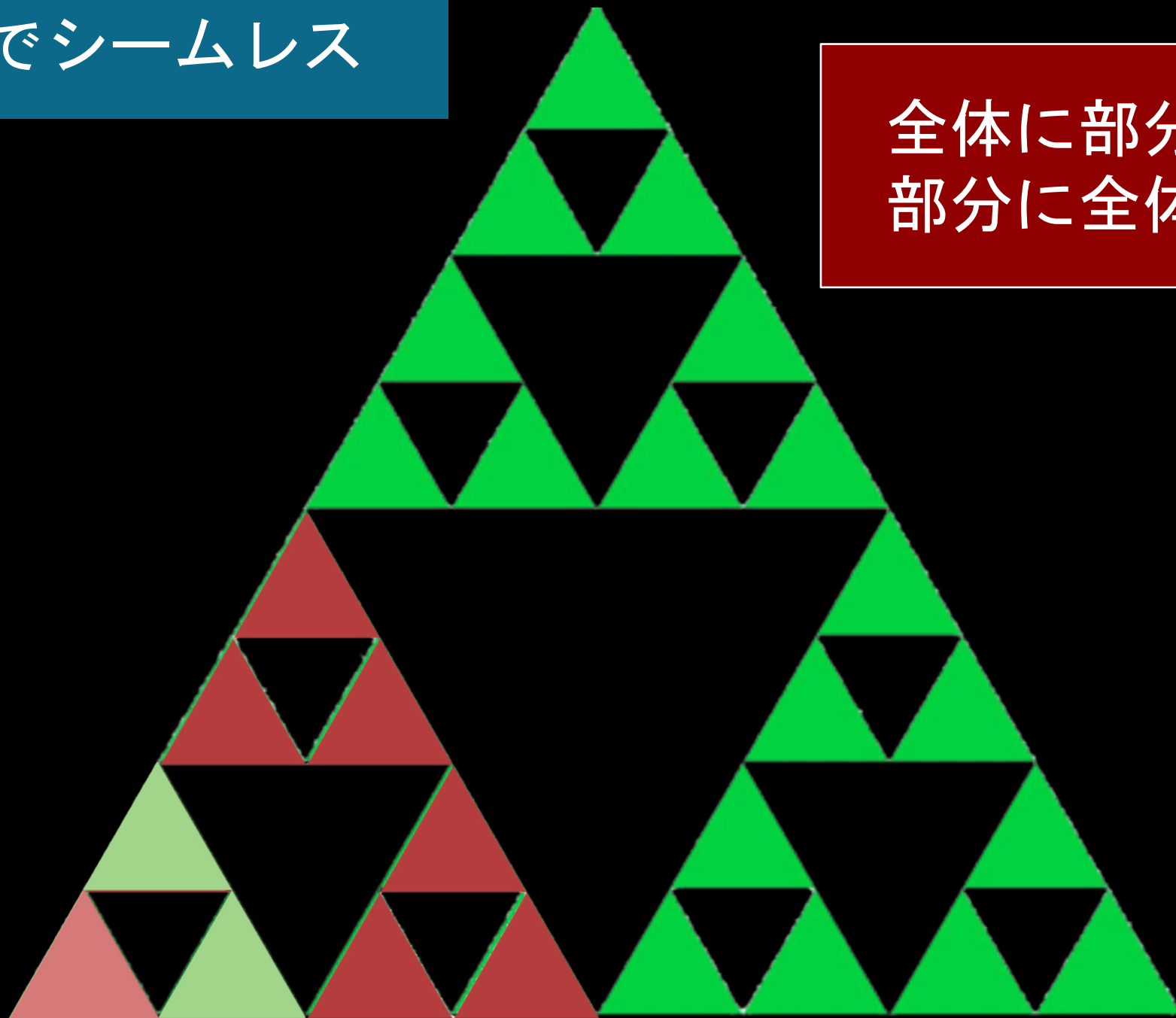
全体に部分  
部分に全体

最終的回復 →

最後の裁き →

一時的回復 →

一時的裁き →



★終末MAP★

【パラダイス】



【天上の礼拝】



【新天新地】



【千年王国】

キリストの再臨



白い御座の裁き



【ゲヘナ(地獄)】



【シェオール(陰府)】



【大患難時代】



教会の携挙



聖霊降臨



【教会時代】



# アウトライン

- |               |            |
|---------------|------------|
| I. 人の罪        | 詩篇49篇      |
| II. 罪と悪       | 詩篇1,10,37篇 |
| III. イスラエルの罪  | 詩篇106篇     |
| IV. イスラエルの苦しみ | 詩篇83篇      |
| V. 主の前での悔い改め  | 詩篇51篇      |
| VI. メシアによる贖い  | 詩篇22篇      |
| VII. まとめと適用   |            |

詩編の希望はメシアにある





I. 人の罪 詩篇49篇



たとえ人が自分自身を生きている間に祝福できても  
あなたには物事がうまく行っていると  
人々があなたをほめたたえても。

そのたましいは 代々の先祖のところに行く。

そこでは永久に光を見ることはない。

人は栄華のうちにあっても 悟ること\*がなければ  
滅び失せる獣に等しい。

\* 主を知り、主の救いに信頼して委ねること

すべて人は、罪のゆえに滅びゆく存在である





## Ⅱ. 罪と悪

詩篇1,10,37篇

■ 幸いなことよ 悪しき者のはかりごとによらず

罪人の道に立たず 嘲る者の座に着かない人。

【主】のおしえを喜びとし 昼も夜もそのおしえを口ずさむ人。

その人は流れのほとりに植えられた木。時が来ると実を結び  
その葉は枯れず そのなすことはすべて栄える。

■ 悪しき者はそうではない。まさしく風が吹き飛ばす穀殻だ。

それゆえ悪しき者はさばきに 罪人は正しい者の集いに立ち得ない。

■ まことに正しい者の道は【主】が知っておられ

■ 悪しき者の道は滅び去る。

主の目に正しい者か？ 悪しき者か？ 道は、二つに一つ!!

主よ なぜあなたは遠く離れて立ち 苦しみのときに身を隠されるのですか。

悪しき者は高ぶって苦しむ人に追い迫ります。彼らが自分の企みに捕らえられますように。

悪しき者は自分自身の欲望を誇り 貪欲な者は主を呪い侮ります。

悪しき者は高慢を顔に表し 神を求めません。 **「神はいない」**  
これが彼の思いのすべてです。

彼の道はいつも栄え あなたのさばきは高すぎて彼の目に入りません。敵という敵を彼は吹き飛ばしてしまいます。

彼は心の中で言っています。「私は揺るがされることなく代々にわたってわざわざいにあわない。」

彼の口は呪いと欺きと虐げに満ち  
舌の裏にあるのは害悪と不法です。

彼は村外れの待ち伏せ場に座り 隠れた所で咎なき者を殺します。  
彼の目は不幸な人をひそかに狙っています。

茂みの中の獅子のように隠れ場で待ち伏せます。苦しむ人を捕らえ  
ようと待ち伏せ 苦しむ人を網にかけて捕らえてしまいます。

彼の強さに不幸な人は砕かれ 崩れ倒れます。

彼は心の中で言っています。「神は忘れているのだ。顔を隠して  
永久に見ることはないのだ。」

- ①欲望を誇る
- ②貪欲
- ③主を呪い、悔る
- ④高慢で、神を求めない
- ⑤神の裁きを気にもとめない
- ⑥「神はいない」と思っている
- ⑦正しい者を待ち伏せ、襲う



悪しき者は、神を恐れず、傲慢で貪欲、正しい者を迫害する

悪を行う者に腹を立てるな。不正を行う者にねたみを起こすな。  
彼らは草のようにたちまちしおれ 青草のように枯れるのだから...。  
怒ることをやめ 憤りを捨てよ。  
腹を立てるな。それはただ悪への道だ。  
悪を行う者は断ち切られ

【主】を待ち望む者 彼らが地を受け継ぐからだ。

■ 悪しき者に、対抗する方法も道もない。 ➡ 主に委ねるしかない。

悪しき者は、主ご自身が断ち切られる



### Ⅲ. イスラエルの罪

詩篇106篇



彼らは【主】が命じられたのに 諸国の民を滅ぼさず

かえって異邦の民と交わり その習わしに倣い

その偶像に仕えた。それが彼らにとって罫となった。

彼らは自分たちの息子と娘を 悪霊へのいけにえとして献げ

咎なき者の血を流した。

彼らの息子や娘たちの血 それをカナンの偶像のいけにえとした。

こうしてその国土は血で汚された。

このように彼らはその行いによって自分を汚し

そのわざによって姦淫を犯した。

偶像礼拝に陥り、預言者を迫害したイスラエルの罪

それで【主】の怒りは 御民に向かって燃え上がり

主はご自分のゆずりの民を忌み嫌われた。

主は彼らを国々の手に渡されたので

彼らを憎む者たちが彼らを支配した。

敵どもが彼らを虐げたので 彼らは征服され敵の手に下った。

主は幾たびとなく彼らを救い出されたが

彼らは相謀って逆らい 自分たちの不義の中におぼれた。

\* 士師の時代～王国時代～バビロン捕囚～その後も...

主の懲らしめにも関わらず、罪を繰り返したイスラエル



V. 主の前での悔い改め

詩篇51篇

ユダの荒野

指揮者のために。ダビデの賛歌。  
ダビデがバテ・シェバと通じた後、  
預言者ナタンが彼のもとに来たときに。

神よ 私をあわれんでください。  
あなたの恵みにしたがって。  
私の背きをぬぐい去ってください。  
あなたの豊かなあわれみによって。  
私の咎を私からすっかり洗い去り  
私の罪から私をきよめてください。

まことに私は自分の背きを知っています。  
私の罪は いつも私の目の前にあります。  
私はあなたに ただあなたの前に罪ある者です。  
私はあなたの目に 悪であることを行いました。  
ですから あなたが宣告するとき あなたは正しく  
さばくとき あなたは清くあられます。  
ご覧ください。私は咎ある者として生まれ  
罪ある者として 母は私を身ごもりました。

確かに あなたは心のうちの真実を喜ばれます。

どうか 私の心の奥に 知恵を教えてください。

ヒソプで私の罪を除いてください。

そうすれば私はきよくなります。

私を洗ってください。そうすれば 私は雪よりも白くなります。

楽しみと喜びの声を聞かせてください。

そうすれば あなたが砕かれた骨が喜びます。

御顔を私の罪から隠し 私の咎をすべてぬぐい去ってください。

神よ 私にきよい心を造り

揺るがない霊を 私のうちに新しくしてください。

私を あなたの御前から投げ捨てず

あなたの聖なる御霊を 私から取り去らないでください。

あなたの救いの喜びを私に戻し

仕えることを喜ぶ霊で 私を支えてください。

私は背く者たちに あなたの道を教えます。

罪人たちは あなたのもとに帰るでしょう。

神よ私の救いの神よ 血の罪から私を救い出してください。

私の舌は あなたの義を高らかに歌います。

主よ 私の唇を開いてください。

私の口は あなたの誉れを告げ知らせます。

まことに私が供えても あなたはいけにえを喜ばれず

全焼のささげ物を望まれません。

神へのいけにえは砕かれた霊。打たれ砕かれた心。

神よ あなたはそれを蔑まれません。



どうかご恩寵により シオンにいつくしみを施し  
エルサレムの城壁を築き直してください。

そのとき あなたは義のいけにえを

焼き尽くされる全焼のささげ物を喜ばれます。

そのとき雄牛が あなたの祭壇に獻げられます。



## VI. メシアによる贖い

詩篇22篇

# 詩編22篇 メシアの受難と栄光

① 父なる神との断絶	1～2節	...人の罪・神との断絶
② イスラエルの賛美	3～5節	...イスラエルへの神の約束
③ メシアへの嘲り	6～8節	メシアの贖い 十字架の死・葬り・復活
④ メシアの孤独	9～13節	
⑤ メシアの受難	14～18節	
⑥ 御父への叫び	19～21節	
⑦ 御父の応答	21～22節	
⑧ 主への賛歌	23～24節	
⑨ 民をとりにます祈り	25～27節	➡ 大祭司なるメシア
⑩ 神の王国	28～31節	➡ 王なるメシア

十字架上の叫びに込められた神の計画の全貌

人の罪

断絶の苦しみ 詩篇22:1~2

指揮者のために。「暁の雌鹿」の調べにのせて。ダビデの賛歌。

わが神 わが神

どうして 私をお見捨てになったのですか。

私を救わず 遠く離れておられるのですか。

私のうめきのことばにもかかわらず。

わが神 昼に私はあなたを呼びます。

しかし あなたは答えてくださいません。

夜にも 私は黙っていられません。

けれども あなたは聖なる方

御座に着いておられる方 イスラエルの賛美です。

あなたに私たちの先祖は信頼しました。

彼らは信頼し あなたは彼らを助け出されました。

あなたに叫び 彼らは助け出されました。

あなたに信頼し 彼らは恥を見ませんでした。

贖い      メシアへの嘲り      詩篇22:6~8

しかし 私は虫けらです。人間ではありません。

人のそしりの的 民の蔑みの的 です。

私を見る者はみな 私を嘲ります。

口をとがらせ 頭を振ります。

「【主】に身を任せよ。助け出してもらえばよい。

主に救い出してもらえ。彼のお気に入りなのだから。」

贖い      メシアの孤独      詩篇22:9～13

まことに      あなたは私を母の胎から取り出した方。

母の乳房に拠り頼ませた方。

生まれる前から      私はあなたにゆだねられました。

母の胎内にいたときから      あなたは私の神です。

どうか      私から遠く離れないでください。

苦しみが近くにあり      助ける者がいないのです。

多くの雄牛が私を取り囲み      バシヤンの猛者どもが私を囲みました。

彼らは私に向かって      口を開けています。

かみ裂く      吼えたける獅子のように。

贖い

メシアの受難 詩篇22:14~18

水のように私は注ぎ出され 骨はみな外れました。

心は ろうのように 私のうちで溶けました。

私の力は 土器のかけらのように乾ききり

舌は上あごに貼り付いています。

死のちりの上に あなたは私を置かれます。

犬どもが私を取り囲み 悪者どもの群れが私を取り巻いて

私の手足にかみついたからです。

私は自分の骨を みな数えることができます。

彼らは目を凝らし 私を見ています。

彼らは私の衣服を分け合い 私の衣をくじ引きにします。



贖い

御父への叫び 詩篇22:19～21a

【主】よ あなたは離れないでください。

私の力よ 早く助けに来てください。

救い出してください。私のたましいを剣から。

私のただ一つのを犬の手から。

救ってください。獅子の口から 野牛の角から。

贖い

御父の応答 詩篇22:21b~22

あなたは 私に答えてくださいました。

私は あなたの御名を兄弟たちに語り告げ

会衆の中であなたを賛美します。

贖い

主への賛歌 詩篇22:23～24

【主】を恐れる人々よ 主を賛美せよ。

ヤコブのすべての裔よ 主をあがめよ。

イスラエルのすべての裔よ 主の前におののけ。

主は 貧しい人の苦しみを蔑まず いとわず

御顔を彼から隠すことなく

助けを叫び求めたとき 聞いてくださった。

大いなる会衆の中での私の賛美は  
あなたからのものです。

私は誓いを果たします。主を恐れる人々の前で。

どうか貧しい人々が食べて満ち足り

主を求める人々が【主】を賛美しますように。

—あなたがたの心がいつまでも生きるように—

地の果てのすべての者が 思い起こし

【主】に帰って来ますように。

国々のあらゆる部族も あなたの御前にひれ伏しますように。

王権は【主】のもの。主は国々を統べ治めておられます。

地の裕福な者はみな 食べてひれ伏し

ちりに下る者もみな 主の御前にひざまずきます。

自分のたましいを生かすことができない者も。

子孫たちは主に仕え

主のことが 世代を越えて語り告げられます。

彼らは来て生まれてくる民に 主の義を告げ知らせます。

主が義を行われたからです。

# 詩編22篇 メシアの受難と栄光

- |           |        |                       |
|-----------|--------|-----------------------|
| ①父なる神との断絶 | 1～2節   | ...人の罪・神との断絶          |
| ②イスラエルの賛美 | 3～5節   | ...イスラエルへの神の約束        |
| ③メシアへの嘲り  | 6～8節   | メシアの贖い<br>十字架の死・葬り・復活 |
| ④メシアの孤独   | 9～13節  |                       |
| ⑤メシアの受難   | 14～18節 |                       |
| ⑥御父への叫び   | 19～21節 |                       |
| ⑦御父の応答    | 21～22節 |                       |
| ⑧主への賛歌    | 23～24節 |                       |
| ⑨民をとりなす祈り | 25～27節 | ➡大祭司なるメシア             |
| ⑩神の王国     | 28～31節 | ➡王なるメシア               |

御言葉を



## VII. まとめと適用

詩編の希望はメシアにある

# 詩編に映るメシアの陰

- 詩編で歌われる、苦難の信仰者の究極的希望は、**メシア**
  - ① **メシア**が、公正に敵を裁き、信仰者の罪を贖い、救われる。
  - ② **メシア**が、イスラエルを回心に導き、敵を滅ぼし、帰還させる。
- 罪と悪、暴虐な悪人の存在を詩編は何度も明確に記す。  
不条理で理不尽極まりない苦しみの救いの根拠は、**メシア**にある。
  - ➡ 愛をもって罪を贖い、義をもって悪を裁き、滅ぼされる。